しつもんコーナー Q&A

■質問■

先日、高知県の親戚から文旦が送られてきました。初めて見る文旦の大きさに驚きながら、早速むいてみてガッカリしてしまいました。あまりに皮が厚く、すけど。でも、こんなに皮と種が多いとは、うちに届いた文旦はハズレだったのでしょうか。それとも、文旦ってこういうものですか。

■お答え■

文旦は自然に受粉させるのではなく、人の手で、ひとつひとつの花の雌しべに花粉をつける作業をします。（幡多農業高校の生徒さんが手伝ってくれた作業です）この作業をした花には、自然に受粉させた花と比べて、格段に品質が良くおいしい実がなります。そのかわり、種が多く入ってしまうのです。食べにくいとは思いますが、種が入っているのはおいしい文旦の印と考えて、どうかご了承ください。

また、温州みかんなど他の柑橘類に慣れた目で見ると、すごく皮が厚く思えるのですが、これが文旦の特徴なのです。この厚い皮のおかげで、寒い季節を乗り越えて、おいしい実になります。また、皮の厚さを利用して、地元では「文旦の皮の砂糖漬け」を作ります。あっさりとした甘味で、なかなかおいしいものですので、皆様もお試しください。

文旦の皮の砂糖漬け

①むいた外皮の黄色い部分を薄く削り、綿状の白い部分のみにする。
②幅１センチくらいに切る。
③たっぷりの湯でゆで、あくを取るためにしぼる。これを２、３回繰り返す。
④水につけたまま、１晩おく。（苦みを抜くため）
⑤水分をしぼった後、計量して同量の砂糖を加え、材料がつかる程度の水を入れて煮込み、やや水分が残るくらいで火を止め、冷ます。
⑥少し乾いたらグラニュー糖をまぶして、出来上がり！

掲示板

文旦の注文は、３月中旬まで受け付けいたします。ただし、在庫がなくなりしだい締め切らせていただきますので、ご注文はお早めにどうぞ。また、文旦は乾燥を避け、冷暗所に保管すれば、２～３週間は、おいしくお召し上がりいただけます。

宿毛弁講座

【めごもかごも】誰も彼も
【いつもかつも】いつもいつも
使用例「めごもかごもケータイ持っちょるけんど、いつもかつも話しよったら、電話代がもたんぜよ」
訳「誰も彼も携帯電話を持っているけど、いつもいつも話してたら、電話代がかかってしかたないよ」

お手紙コーナー

◆毎年、文旦の季節が来るのを家族一同楽しみに待っています。今年も届くなり息子が飛び付き、他の果物には目もくれず食べ、一箱がアッという間に減ってしまいました。これからもおいしい文旦作りにがんばって下さい。
山梨県　羽鳥一成様

◆梅咲きて　香りと歩む　文旦の里
大阪府　岡崎利勝様

◆すくも便り二号の「宿毛弁講座」に載っていた『へんしも』という言葉。私は歌舞伎が好きなんですけど、歌舞伎の中で時々聞く言葉だったのです。意味がわからなかったのですが「急いで」という意味だったのですね。ありがとう。
埼玉県　布川謙二様

文旦の季節になると、お客様からお便り、写真、絵手紙等を頂戴します。いつも家族皆で喜びながら読ませて頂いてます。一通一通が、本当に私共の宝物ですし、また、とても励みになります。ありがとうございます。

『すくも便り』に掲載させて頂いたかたには、文旦を一箱差し上げます。

クイズの答え
故吉田茂氏

編集後記

『すくも便り』も３号目になりました。毎年秋になるころ、ウンウン頭をひねりながら、パソコンに向かって『すくも便り』を作るのが、わたしの年中行事になったようです。田舎に住んでいると何かと不自由も多く、世間も狭くなりがちなのですが、『すくも便り』を通じて日本各地のかたとお知り合いになれるのがとてもうれしいですし、何ものにも変えがたい財産だと感じています。

おいしい文旦が食べられる季節は、１年のうちのほんの一瞬だけ。また来年の春も『すくも便り』でお会いできることを楽しみにしています。　（あ）

ボクの顔と文旦、どっちが大きい？

お客様から写真が届きました。兄弟で文旦を抱えて、とてもうれしそうですね。

岡山県　小林さんちの
昌太くんと起也くん

発行人 ／ 松岡 明子（E-mail akikoma@d3.dion.ne.jp）